

## 検討結果のポイント

目標年次 平成23年から10年間（5年ごと見直し）

目標像 「山岳と田園が育むよさを大切にし、暮らしやすさをみんなで共有できるまち」

- 基本方針
- ①農地の保全・農業の育成
  - ②良好な住環境の形成・育成
  - ③商工業・観光の振興と育成

土地利用11の原則 詳細は本文中

## 土地利用市民検討委員会

# これまでの検討結果について

土地利用市民検討委員会がこれまで検討してきた内容をお知らせします。



土地利用計画は、安曇野市の価値ある財産を守りながら、活気のあるまちづくりを行っていく上で大切な計画です。

この計画を策定するにあたり、市民の皆さんによる「市民検討委員会」、専門的な見地から検討する「専門委員会」を組織し、検討を重ねています。

本年11月ごろには、市内を20地区程度に分けて検討経過と一定の計画案を提示しながら説明会を開催する予定です。

今回は、市民検討委員会の現段階での検討結果についてお知らせします。

### 目標年次

◎検討結果 今後20年ほど先を見据えて、平成23年から10年間の土地利用計画を策定する。ただし、その計画は5年ごとに見直しを行うこととする。

◎解説 これは、なるべく土地利用計画を長期間の計画とする一方で、時代の変遷に対応できるようにするために、計画の期間内の見直しを行うこととしました。

### 将来の人口に対する考え方

◎検討結果 この地に暮らしたい人を受け入れ、できるかぎり人口増を維持していく。

◎解説 全国的に人口減少の傾向にある中で、安曇野市は今後も増加が予想されます。魅力ある安曇野であることが人口維持あるいは増につながると考えます。

### 目標像

◎検討結果 「山岳と田園が育むよさを大切にし、暮らしやすさをみんなで共有できるまち」

◎解説 昨年10月の市民アンケート結果と市民検討委員会が描く安曇野市の将来は共通項として、「魅力を育む山岳、田園、きれいな水の継承」、「緑豊かで心地よい暮らしとすまいの実現」、「安曇野ならではの資源を活かした産業振興」の3項目にまとめられました。これに基づいた土地利用の目標像を定めました。

### 土地利用の原則

◎検討結果（下記のとおり）  
◎解説 土地利用の3つの基本方針を実践していくためにおおかたの市民の皆さんが納得できるような原則を定めました。

### 今ある農地を守り、活かすための原則

（原則1）一定のまとまりがあり、その機能保持に投資をしてきた優良農地を保全する。

（原則2）今後の開発は、宅地と混在するような生産性に課題のある農地に限定する。

（原則3）農地の保全の方策を耕作者だけにその責任を押しつけず、行政、市民の連携により全市をあげ様々な工夫を講じていく。

### 新たに建物をつくる際の「立地・用途」の原則

（原則4）新たな住宅は既存の市街地や集落の周辺に集約することを基本とする。

（原則5）農地の広がる区域では、営農環境を保全するため、開発可能な範囲を定め、秩序ある宅地整備を誘導する。

【商工業地】（原則6）店舗や工場等の大きな施設をつくる際には、その立地の要否を住民がケースごと

とに適切に判断できるしくみを設ける。

（原則7）大規模工業地は、既存施設の周辺に集約することを基本とし、新たに設ける場合も一定のまとまりを確保する。

### 新たに建物をつくる際の「形態」の原則

（原則9）市全域において、周辺の景観を阻害する高い建物、景観に馴染まない派手な色彩の建物を規制する。

（原則10）農地の広がる環境に新たに整備される宅地では、周辺の環境や景観に調和させたものとし、緑豊かでゆとりある環境をつくる。

### 市民参加の原則

（原則11）住民一人ひとりがまちづくりに参加し、住民主体となって秩序ある土地利用を図る。

### 基本方針

◎検討結果（右図のとおり）  
◎解説 目標像を達成するために、3つの基本方針を定めました。この基本方針は、それぞれが密接に関係しています。

<p><b>商工業・観光の振興と育成</b> ～資源を産業に活かせるまち～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●良好な環境を活かし、「働く場」「安らぐ場」としての魅力を育てる。</li> <li>●安曇野の魅力を活かした産業の誘致、観光の振興を図ることができる仕組みをつくる。</li> </ul>	<p><b>良好な住環境の形成・育成</b> ～暮らしやすさをみんなが共有できるまち～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●きれいな水や空気、美しい景観を未来に受け継ぎ、暮らしやすい環境の形成と良好な景観の育成に努める。</li> <li>●景観や周辺環境との調和に配慮した質の高い住環境をつくる。</li> </ul>	<p><b>農地の保全・農業の育成</b> ～「農」を大事にするまち～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多様な機能を有する農地、優良な農地を保全する。</li> <li>●農業・農地を支える仕組みの充実を図り、その大切さを伝えていく。</li> </ul>
---	--	--

### 安曇野市発展の礎となる計画策定

安曇野市は、産業・観光・自然環境など特色のある町村が合併したことで、県内外から大変注目が寄せられています。土地利用計画は、特色ある地域づくりを進めるための礎となる計画であり、委員一同その任務の重さを痛感しているところです。

市民検討委員会では、将来の目標像を「山岳と田園が育むよさを大切にし、暮らしやすさをみんなで共有できるまち」とし、目標像を具体的に実践するための11の原則を導き出してきました。今後、これらの原則を達成するための土地利用ルールについて検討に入り、いよいよ難しい問題に直面してまいります。

市民の皆さまのご意見をお寄せいただくと共に、ご協力をお願い致します。



土地利用市民検討委員会 宮澤 正士 会長